

様式第7号(第3条関係)

燃料電池発電設備
変電設備
① 急速充電設備 設置届出書
発電設備
蓄電池設備

② 年 月 日				
宛 届出者 住所 ③ (電話) 氏名				
防 対 象 物	所在地	④ 電話		
	名 称	⑤	用 途	⑥
設 場 置 所	構 造	場 所		床 面 積
	⑦		⑧ 屋内(階)・屋外	⑨ m ²
	消防用設備等又は 特殊消防用設備等	⑩	不燃区画 有・無	換気設備⑫ 有・無
届 出 設 備	電 圧	⑬ v	全出力又は 定格容量	⑭ kW kWh
	着 工 (予 定) 年 月 日	⑮ 年 月 日	竣 工 (予 定) 年 月 日	年 月 日
	設 備 の 概 要	種 別	⑯ キュービクル式(屋内・屋外)・その他	
主任技術者氏名		⑰		
工 事 施 行 者	住 所	⑱ 電話		
	氏 名	⑱		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 電圧欄には、変電設備にあっては一次電圧と二次電圧の双方を記入すること。
- 4 全出力又は定格容量の欄には、燃料電池発電設備、変電設備、急速充電設備又は発電設備にあっては全出力を、蓄電池設備にあっては定格容量を記入すること。
- 5 届出設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 当該設備の設計図書を添付すること。

燃料電池発電設備
変電設備
急速充電設備 設置届出書
発電設備
蓄電池設備

【燃料電池発電設備の場合】

◎届出を要する設備

・ 個体高分子型燃料電池、リン酸型燃料電池、溶酸炭酸塩型燃料電池又は個体化物型燃料電池による発電設備であって火を使用するものが該当となります。

ただし、出力10KW未満のものうち、改質器の温度が過度に上昇した場合若しくは過度に低下した場合又は外箱の換気装置に異常が生じた場合に自動的に停止できる装置を設けたものは除きます。

◎記入方法

- ① 該当する設備以外を横線で見え消しをするか該当する設備を丸で囲んでください。
- ② 届出年月日を記入してください。
- ③ 設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入してください。
- ④ 設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。
- ⑤ 設備を設置する防火対象物名を記入してください。
- ⑥ 消防法施行令別表第1に掲げる用途を記入してください。
- ⑦ 設置場所の構造（S、SRC、RC等）を記入してください。
- ⑧ 屋内か屋外か、屋内なら階数も記入してください。
- ⑨ 床面積を記入してください。
- ⑩ 設置設備（ABC粉末消火器、10型2本等）を記入してください。
- ⑪ どちらか選んでください。
- ⑫ どちらか選んでください。
- ⑬ 電圧を記入してください。
- ⑭ 全出力又は定格容量を記入してください。
- ⑮ 着工、竣工（予定）年月日を記入してください。
- ⑯ 該当するものを選んでください。
- ⑰ 個体高分子型、リン酸型、溶融炭酸塩型、個体酸化物型のいずれかを記入してください。
- ⑱ 設備を実際に取り扱う技術者名を記入してください。
- ⑲ 工事施工者の住所、電話番号、氏名を記入してください。

◎必要な添付書類

- ・ 案内図（不明確な場所に設置する場合に添付をする。）
- ・ 設計図書（設置場所の平面図、機器の立面図、配線、換気系統図等）

【変電設備の場合】

◎届出を要する設備

- ・ 高圧又は特別高圧の変電設備で全出力50KWを超えるもの。
- ・ 同一敷地内に変電設備が数箇所設置されている場合は、それぞれが個別の変電設備となります。
- ・ 建築物等に設置されている場合は、それぞれの不燃区画毎となります。

◎記入方法

①該当する設備以外を横線で見え消しをするか該当する設備を丸で囲んでください。

②届出年月日を記入してください。

③設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

④設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。

⑤設備を設置する防火対象物名を記入してください。

⑥消防法施行令別表第1に掲げる用途を記入してください。

⑦設置場所の構造（S、SRC、RC等）を記入してください。

⑧屋内か屋外か、屋内なら階数も記入してください。

⑨床面積を記入してください。

⑩設置設備（ABC粉末消火器、10型2本等）を記入してください。

⑪どちらか選んでください。

⑫どちらか選んでください。

⑬1次側〇〇、2次側〇〇を記入してください。

例：1次側6600V、2次側210V、105V等

⑭全出力又は定格容量を記入する。

この際、単位がKVAで記入されたものはKWに変換すること。

※変換式 $A(KW) = B(KVA) \times C(係数)$ として計算してください。なお、Bの値によって、係数が変わりますので以下を参照してください。

- ・ Bが500未満のときはCを0.8としてください。
- ・ Bが500以上、1000未満のときはCを0.75としてください。
- ・ Bが1000以上のときはCを0.7としてください。

⑮着工、竣工（予定）年月日を記入してください。

⑯該当するものを選んでください。

⑰設備の概要を記入。（例）動力用トランス35KVA×3、100KVA×3、電灯用トランス20KVA×2、50KVA×2、トランスは全て油入トランス、その他設計図書は別添等を記入してください。

⑱設備を実際に取り扱う技術者名を記入してください。

⑲工事施工者の住所、電話番号、氏名を記入してください。

◎必要な添付書類

- ・ 案内図（不明確な場所に設置する場合に添付。）
- ・ 設計図書（機器の立面図、配線、換気系統図等。）
- ・ 設置場所の平面図（標識設置位置、機器の配置も記入）
- ・ 消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式を設置する場合は、基準に適合している資料として、「16.キュービクル式の変電設備適合

チェック表」を用いてチェックし、添付してください。

◎注意事項

- ・位置、構造及び管理については青森地域広域事務組合火災予防条例第18条を参照してください。

【急速充電設備の場合】

◎届出を要する設備

・電気を設備内部で変圧し、電気自動車等に充電する設備（コネクタ型）で全出力50KWを超えるもの。

※非コネクタ型の充電設備は変電設備として取扱う場合がありますので、事前に消防署へお問い合わせください。

◎記入方法

①該当する設備以外を横線で見え消しをするか該当する設備を丸で囲んでください。

②届出年月日を記入してください。

③設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

④設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。

⑤設備を設置する防火対象物名を記入してください。

⑥消防法施行令別表第1に掲げる用途を記入してください。

⑦設置場所の構造（S、SRC、RC等）を記入してください。

⑧屋内か屋外か、屋内なら階数も記入してください。

⑨床面積を記入してください。

⑩設置設備（ABC粉末消火器、10型2本等）を記入してください。

⑪どちらか選んでください。

⑫どちらか選んでください。

⑬電圧を記入してください。

⑭全出力又は定格容量を記入してください。

⑮着工、竣工（予定）年月日を記入してください。

⑯該当するものを選んでください。

⑰個体高分子型、リン酸型、熔融炭酸塩型、個体酸化物型のいずれかを記入してください。

⑱設備を実際に取り扱う技術者名を記入してください。

⑲工事施工者の住所、電話番号、氏名を記入してください。

◎必要な添付書類

・案内図（不明確な場所に設置する場合に添付をする。）

・設計図書（機器の立面図、仕様書、説明書等）

・設置場所の平面図（標識設置位置、機器の配置も記入）

※「電気自動車用急速充電スタンド標準仕様書」は不要です。

◎注意事項

・位置、構造及び管理については青森地域広域事務組合火災予防条例第19条を参照してください。

【発電設備の場合】

◎届出を要する設備

- ・内燃機関（ガスタービンを含む。）によるもので固定されているもの。

◎記入方法

①該当する設備以外を横線で見え消しをするか該当する設備を丸で囲んでください。

②届出年月日を記入してください。

③設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

④設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。

⑤設備を設置する防火対象物名を記入してください。

⑥消防法施行令別表第1に掲げる用途を記入してください。

⑦設置場所の構造（S、SRC、RC等）を記入してください。

⑧屋内か屋外か、屋内なら階数も記入してください。

⑨床面積を記入してください。

⑩設置設備（ABC粉末消火器、10型2本等）を記入してください。

⑪どちらか選んでください。

⑫どちらか選んでください。

⑬電圧を記入してください。

⑭全出力又は定格容量を記入してください。

⑮着工、竣工（予定）年月日を記入してください。

⑯該当するものを選んでください。

⑰設備の概要を記入。（例）エンジンは重油のディーゼル、発電機とエンジンは砂及びコルクの防振台上に取り付ける、燃料タンクは200L、厚さ0.2mmの鉄板で鉄製架台上に設ける、その他は別添設計図書（仕様書、説明書等）による等を記入してください。

⑱設備を実際に取り扱う技術者名を記入してください。

⑲工事施工者の住所、電話番号、氏名を記入してください。

◎必要な添付書類

- ・案内図（不明確な場所に設置する場合に添付をする。）
- ・設計図書（機器の立面図、仕様書、説明書等、排気筒の配置系統図）
- ・設置場所の平面図（標識設置位置、機器の配置も記入）
- ・消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式を設置する場合は、基準に適合している資料として、「17.キュービクル式の発電設備適合チェック表」を用いてチェックし、添付してください。

◎注意事項

- ・位置、構造については青森地域広域事務組合火災予防条例第20条を参照してください。

【蓄電池設備の場合】

◎届出を要する設備

- ・ 定格容量と電層数の積の合計が4800Ahセル以上のもの。
- ・ 建築物等に設置されている場合は、それぞれの不燃区画毎とします。
- ・ 不燃区画内の設備は配線の系統が異なっても合算してください。

◎記入方法

①該当する設備以外を横線で見え消しをするか該当する設備を丸で囲んでください。

②届出年月日を記入してください。

③設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入してください。

④設備を設置する防火対象物の所在地、電話番号を記入してください。

⑤設備を設置する防火対象物名を記入してください。

⑥消防法施行令別表第1に掲げる用途を記入してください。

⑦設置場所の構造（S、SRC、RC等）を記入してください。

⑧屋内か屋外か、屋内なら階数も記入してください。

⑨床面積を記入してください。

⑩設置設備（ABC粉末消火器、10型2本等）を記入してください。

⑪どちらか選んでください。

⑫どちらか選んでください。

⑬電圧を記入してください。

⑭全出力又は定格容量を記入してください。

⑮着工、竣工（予定）年月日を記入してください。

⑯該当するものを選んでください。

⑰アルカリ、鉛蓄電池の別、（なお、シール形鉛蓄電池を除く鉛蓄電池の場合、蓄電池室の床や設置台は耐酸性のものとする。）電層は転倒のおそれがないよう設置、誘導灯及び油入遮断器の操作用その他設計図書等は別添等を記入する。

⑱設備を実際に取り扱う技術者名を記入してください。

⑲工事施工者の住所、電話番号、氏名を記入してください。

◎必要な添付書類

- ・ 案内図（不明確な場所に設置する場合に添付をしてください。）
- ・ 設計図書（機器の立面図、配線の系統図等。）
- ・ 設置場所の平面図（標識設置位置、機器の配置も記入してください。）
- ・ 消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式を設置する場合は、基準に適合している資料として、「18.キュービクル式の蓄電設備適合チェック表」を用いてチェックし、添付してください。

◎注意事項

- ・ 蓄電池設備の容量の計算

容量(Ahセル) = 定格容量(Ah) × 単位電槽数(セル)

- ・ 同一室内での総容量は種々の定格容量(Ah)に単位電槽数(セル)を乗じたものの合算となります。このとき、直列接続、並列接続の別は問いません。